

News Letter

徹底した生産コスト低減を求めて！

～ (株)夢ファームにおける飼料用米栽培の取組 ～



(経営農地のある水田域)

★ 経営の概要

株式会社夢ファームは、平成20年に設立した農業法人で、岡山市西大寺地区において水稻を中心とした水田農業を営んでいます。

同社は、法人化前から経営農地の規模拡大を進め、現在(平成28年産)は水稻を約55ha栽培しており、県内有数の大規模経営となっています。このうち、平成22年産から取り組んでいる飼料用米は、現在、約13ha栽培しています。

飼料用米をはじめ農業経営では、ほ場の大区画化や乾田直播栽培の工夫などにより、徹底した生産コスト低減に取り組んでいます。

★ 生産コスト低減の取組

同社のほ場は、小面積(平均10a)で作業効率が悪かったため、平成19年に導入したレーザーレベラーにより、畦畔除去後、ほ場2～3枚を均平に合筆する方法で、大区画化に取り組んでいます。ほ場の大区画化により、大型機械の性能を活かして作業効率を高めています。

また、従来から取り組んでいた乾田直播栽培については、平成23年に耕運、播種、施肥、除草、鎮圧(覆土し押し固めることで発芽率を上げる作業)を同時に行うことができるバーチカルハローシーダを導入(26年に2台目を導入)しました。これにより、1日に8haの播種が可能となるなど、作業時間の大幅な短縮を実現しました。

更に、西日本農業研究センターとの連携により、バーチカルハローシーダを改良し、播種量を半減させる栽培技術を確立しています。



(大区画化したほ場)



(バーチカルハローシーダ)

★ その他様々な取組

このほか飼料用米栽培の取組では、2週間程度収穫時期を遅らせ、ほ場で籾水分を低下させる立毛乾燥を行っており、乾燥・調製に係る経費の削減、収穫作業の分散に繋がっています。

こうしたコスト低減の取組に加え、生産性向上のため多収品種の導入を検討しており、平成27年から、農研機構と連携した試験栽培を実施しています。

代表取締役の奥山孝明氏は、JA岡山県青壮年部協議会会長など県や地域の要職を歴任されており、若手農業経営者のリーダーや地域の担い手として、益々の活躍が期待されます。

「牛乳が好き。」MILK●JAPAN中国四国 フォトコンテスト2016受賞者決定

中国四国農政局では、6月1日の牛乳の日、6月の牛乳月間に合わせ、牛乳・乳製品の消費拡大及び酪農への理解を深めるため、フォトコンテストを開催しました。

募集作品のテーマは「牛乳・乳製品の部」、「乳牛とのふれあいの部」の2部門です。平成28年9月30日に締め切りましたところ、多数の応募がありました。

10月17日、審査委員長に写真家末澤雅彦氏を迎え、審査会を開催し、厳正なる審査の結果、受賞者が決定しました。

【最優秀賞】「乳牛とのふれあいの部」中国四国農政局長賞



作品名

「ゆびしゃぶり」

山口県岩国市

榎本 舞さん

片手がすっぽりとしゃぶられているのに厭がらず、とても笑顔で、牛が好きなお子だと伝わる作品でした。



【優秀賞】「乳牛とのふれあいの部」 中国生乳販売農業協同組合連合会会長賞 広島県神石郡神石高原町 山本 紗栄さん



作品名「ぎゅうっと」

作品名「さあ、いっしょにおさんぽしよ」



【優秀賞】「乳牛とのふれあいの部」 一般社団法人中央酪農会議会長賞 岡山県真庭市 筒井 智子さん

★詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/pdf/fotokon2016.pdf>

編集：中国四国農政局 岡山県拠点

〒700-0985 岡山市北区厚生町3-2-6 厚生町庁舎

TEL: 086-223-3131(内線203) FAX: 086-232-4609

◇各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから)

<農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/index.html>

<http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>